

編集室

はじめ不安顔だった新人の学生記者たちも、上気した顔で編集室に引き上げてきました。

「大学でこうなんだな、ともう一つの大学らしさを実感」「ざわざわとしているけれど、どこか気持ちが悪くなる。共犯意識がつくる仲間感覚かな」……。

ちよつと興奮ぎみに。2時間ていどの予定だったサークル棟潜入が4時間にも及んだのは、足を釘付けにする「何者か」が潜んでいたせいでしょう。昼のキャンパスにはない「ざ

わざわ」感。あるいはヒトと歴史のシミがかもす、何者か。

「ハダシデウミベヨハシリタイ」

——99年1月、「東大・安田講堂」に籠城した学生たちが残した壁書きですが、中大サークル棟も、負けてはいないようです。「壁画の街」と江部記者は形容しています。

一方で、01年度「学生生活実態調査報告書」（学生部）によると、サークル参加率はやつと51%。サークルなんて、と背を向ける傾向もあるなかで、「孤独さえたたえて「燃える」サークル棟……。本文をお読みください。

（広報課 田中紘太郎）

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2003

夏季号

2003年(平成15年)7月1日発行 No.181

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷

泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141